



コミュニケーションツールとしての 「やさしい日本語」

～外国人市民に分かりやすく伝えるために～

「やさしい日本語」は、難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。簡単な日本語のため、外国人の方だけではなく、高齢者や子どもなどにも伝わりやすいコミュニケーション手段の一つとして注目されています。

とき： 令和6年2月 15日（木）
18:30～20:00

ところ： 庄原自治振興センター 多目的ホール
（庄原市西本町二丁目 17番 15号 庄原市民会館）

内容： 「やさしい日本語」の話し方・書き方、
より相手に伝わりやすくするためのコツを学びます。

講師： 公益財団法人 ひろしま国際センター
日本語常勤講師 いぬかい やすひろ 犬飼 康弘 さん



講師プロフィール

広島大学大学院教育学研究科博士課程前期修了。在学中から地域日本語教室に参加するなど、地域との関わりを持つ。1997年より(公財)ひろしま国際センターにて日本語教育に従事。

こんなとき、どう伝えますか？

- ・外国人のお客さんに複雑な手続きを説明するとき
- ・外国人の同僚に仕事内容を伝えるとき
- ・災害時、近所に住んでいる外国人に避難を促す時 など



お問い合わせ先

庄原市 生活福祉部 市民生活課 電話(0824)73-1154

FAX:(0824)73-1247 メール:simin-seikatsu@city.shobara.lg.jp

主催：庄原市 共催：しょうばら国際交流協会